

つなぐ

第 32号

2024年2月1日発行
鳥取県 境港市議会

令和4年度決算審査特別委員会報告	P 2
令和5年12月定例会補正予算	P 3
令和5年11月臨時会・12月定例会(議決結果)	P 4
一般質問	P 6

令和6年境港市消防出初式
伝統的な手押しポンプによる放水



<https://www.city.sakaiminato.lg.jp/>

境港市議会

検索



令和4年度決算審査特別委員会報告

10月12日から17日の間、令和4年度決算審査特別委員会を開催し、一般会計・特別会計あわせて7つの会計の歳入・歳出の認定にかかる議案について、審査しました。次の6項目の要望事項を付して、認定されました。

1. 生ごみ堆肥化促進事業、紙おむつ資源化事業に関しては、広報や紹介の仕方などの工夫に取り組み、一層推進すること。
2. 住民基本台帳ネットワーク運用事業、戸籍事務システム運用事業については、システム管理の委託業者が異なることから、リスク分散を考慮しつつ、統一できないかなど、効率化を検討すること。
3. RPAシステム[※]については、社会保障・税番号システム運用事業だけにこだわらず、庁内業務の効率化、職員の再配置に向け、利活用の幅を広げること。
※ Robotic Process Automation（ロボティック・プロセス・オートメーション）の略で、人間がパソコン上でやっている業務の効率化のために、ソフトウェア型ロボットで自動化するシステムです。
4. 市内の戦災に関する歴史学習については「玉栄丸」の爆発事故に加え、台場公園の慰霊塔に関する資料なども活用し、平和教育を推進すること。
5. 地域おこし協力隊推進事業は、隊員の定住・定着につながるよう取り組むこと。
6. 市民バス運行事業については、財源である広告収入の増額につながるよう、車内広告の募集内容や手段を工夫すること。

決算審査特別委員会現地視察報告

- 日 程 10月2日
- 場 所 境港市渡太陽光発電所 渡町1100番地33
- 参加者 森岡俊夫（委員長）、松本晶彦（副委員長）、荒井秀行、永井章、景山憲、加藤文治、吉井巧、伊藤康弘、岡空研二、田口俊介、足田法行、安田共子、米村一三（委員外）

視察内容

■ 境港市再生可能エネルギー導入活用事業

この事業は、ゼロカーボンシティの実現に向け、渡町の遊休公有地に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を地域の電力会社に売電。地域における再生可能エネルギーの普及促進や経済循環に役立たせること、また売電収入を家庭や事業所が導入する太陽光発電や蓄電池などの設備への補助金に活用することを目的とするものです。

令和5年8月から運転を開始。年間発電量は約50万kWhで、一般家庭約100世帯分になります。現地で市民生活部次長の説明を聞き、現在安定的に稼働している状況を確認しました。



令和5年

11月臨時会・12月定例会 （議決結果・令和5年度補正予算）

境港市議会では、10月の決算審査特別委員会の結果を受けて11月8日に臨時会が、11月28日から22日間の会期で12月定例会が開かれました。「令和4年度境港市一般会計歳入歳出決算の認定について」など決算7議案、「令和5年度境港市一般会計補正予算」など予算7議案、「境港市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について」など条例6議案および「水木しげる記念館再整備事業に関する基本協定の変更について」、「指定管理者の指定について」などその他5議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

また、提出された「境港市への高齢者に対する体育施設の使用料減免の請願」は、審議の結果、採択となりました。「物価高騰から国民生活を守るため、緊急に消費税減税を行うよう求める陳情」など陳情4件は、審議の結果、採択は3件、不採択は1件となりました。その他、委員会提出議案2件と議員提出議案2件が原案のとおり可決されました。

議決結果は、予算委員会での附帯決議と合わせてP4、P5に掲載しています。また市議会ホームページでもご覧いただけます。一般会計補正予算から主な事業を下段で紹介します。



廃棄物減量等推進事業

コンポストなどの家庭用生ごみ堆肥化容器購入補助金について、6月補正時の想定を上回る申請があったことから、不足が見込まれる補助金の増額。

7万円



水産業6次化支援事業

漁業者と連携し、県内水産物を原材料とする食品加工などに取り組むための施設・機械設備の整備を行う市内水産加工業者に対する補助金。

1,225万円



空家関連事業費補助金

空家除却の補助申請件数が当初の見込みを上回ることから、不足が見込まれる補助金の増額。

300万円



境港市事業者エネルギー価格高騰対策支援金

エネルギー価格の高騰の影響を受け、利益が圧迫されている事業者に対して本市独自の支援金を給付し、市内事業所の事業継続を支援するための費用。
(給付額 法人10万円、個人5万円)

5,293万円

予算委員会報告

12月議会に上程された令和5年度一般会計補正予算(第6号)のうち、文化ホール改修事業や学校給食事業(学校給食センター)などについて、12月5日の議員間討議で、各事業の妥当性や課題、執行部へ要望すべきことなどについて議論しました。さらに、12月14日の採決において、この補正予算の議決にあたって「附帯決議」をとりまとめましたので、ご紹介します。

文化ホール改修事業

- 事業内容:平成6年に完成以降、長年修繕を重ねてきた文化ホールの改修工事(令和6年4月着工予定)にかかる委託料(6億5,806万円)
- 工事内容:天井補強、舞台装置・空調・照明・内装・トイレ洋式化、回廊の撤去、屋上庭園撤去、人工池を埋め立てイベント広場へアスファルト舗装、駐車場増設整備など。
- 議員間討議内容:「回廊を撤去すれば外観が大きく変わるので、利用者や市民の意見を聞き慎重に決定すべき」「回廊を残した場合の維持管理費の増加を勘案しなくては」など。
- 附帯決議要旨:①事業の進捗にあわせ市民の意見を聞き、丁寧な議論を重ねること。
 ②建物外構部分について、議会が実施する調査研究、提言の結果を可能な限り尊重すること。
 ③事業の各進捗段階で議会に適宜報告し意見を求めること。

学校給食事業(学校給食センター)

- 事業内容:学校給食センター生ごみ処理機の故障により生じた光熱水費の増加により不足が見込まれる費用(244万円)
- 経緯:令和5年3月、水道・ガス・下水道使用量が増えていることを把握したが、一時的な増加の可能性を疑った。7月、水漏れの可能性が高いと判断し、箇所の特定のため調査を行った。8月、生ごみ処理機の故障が判明し、修繕を実施した。
- 議員間討議内容:「3月以降早く調査をすれば、244万円もの増加にならなかった。」「執行部には反省と再発防止を強く求めるべき」「職員が漏水を疑い、調査する必要があった」など。
- 附帯決議要旨:①機器の保守点検作業に立ち会うなど、点検作業の履行確認を徹底すること。
 ②施設管理費については、使用料や請求額の状況を常時把握できるようにし、変動があった際には、設備に異常がないか、公共サービスの提供に支障がないかを念頭に検証すること。

賛成:○ 反対:×

自由未来							賛 否 状 況					きょうどう		境港市議会公明党議員団		無所属
永井章	荒井秀行	景山憲	加藤文治	吉井巧	松本晶彦	伊藤康弘	米村一三	岡空研二	森岡俊夫	平松謙治	柊康弘	田口俊介	足田法行	安田共子		
○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×		
×	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○		
○	議長採決 ○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○		
×	議長	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○		
○	議長	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○		

令和5年11月臨時会・12月定例会 議決結果一覧表【全会一致で議決したもの】

会議	提出者	区分	番号	案 件 名	議決結果
11月臨時会	市長	決算	第53号	令和4年度境港市国民健康保険費特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
			第54号	令和4年度境港市駐車場費特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
			第55号	令和4年度境港市下水道事業費特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
			第56号	令和4年度境港市介護保険費特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
			第57号	令和4年度境港市市場事業費特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
12月定例会	市長	予算	第59号	令和5年度境港市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
			第60号	令和5年度境港市市場事業費特別会計補正予算（第1号）	原案可決
			第61号	令和5年度境港市公共下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
			第69号	令和5年度境港市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
			第70号	令和5年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算（第2号）	原案可決
			第71号	令和5年度境港市介護保険費特別会計補正予算（第2号）	原案可決
			第72号	令和5年度境港市公共下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
		条例	第62号	境港市市場関係者詰所条例を廃止する条例制定について	原案可決
			第63号	水木しげる記念館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
			第74号	境港市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	その他	第75号	境港市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	
		第76号	境港市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	
		第64号	中海圏域の定住自立圏の形成に関する協定の変更について	原案可決	
		第65号	水木しげる記念館再整備事業に関する基本協定の変更について	原案可決	
		第66号	指定管理者の指定について	原案可決	
		第67号	指定管理者の指定について	原案可決	
		第68号	指定管理者の指定について	原案可決	
	委員会提出議案	第8号	子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員とさらなる賃金引き上げを求める意見書の提出について	原案可決	
		第9号	議案第59号 令和5年度境港市一般会計補正予算（第6号）に対する附帯決議	原案可決	
	議員提出議案	第5号	ガザ地区における平和の実現を早期に求める決議	原案可決	
陳 情	第13号	「子どものために保育士配置基準の引き上げと、労働条件改善による保育士の増員とさらなる賃金引き上げを求める意見書」の提出を求める陳情	採 択 意見書提出		
	第15号	公文書の年表記についての陳情	採 択 市長送付		

※このほか報告が1件ありました。

令和5年11月臨時会・12月定例会 議決結果一覧表【賛否の分かれたもの】

会 議	提出者	区分	番号	案 件 名	議決結果
11月臨時会	市長	決算	第52号	令和4年度境港市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
			第58号	令和4年度境港市後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
12月定例会	市長	条例	第73号	境港市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議員提出議案	第4号	物価高騰から国民生活を守るため、緊急に消費税減税を行うよう求める意見書の提出について	原案可決	
		請 願	第3号	境港市への高齢者に対する体育施設の使用料減免の請願	採 択 市長送付
	陳 情	第12号	物価高騰から国民生活を守るため、緊急に消費税減税を行うよう求める陳情	採 択 意見書提出	
		第14号	通学路における危険個所の合同点検について陳情	不採択	

市政を問う

議員13人が一般質問を行いました。

【一口メモ】

一般質問には、所属する会派を代表して行う「代表質問」（境港市議会では3人以上の会派のみ）と、議員個人の立場・観点で行う「各個質問」があります。

議会だよりの質問ページは、質問を行った1議員については最大1ページとしていますが、上記の「代表質問」と「各個質問」では性質や質問時間が異なるため、「代表質問」を行う場合は会派内でページ配分をしています。

各議員は掲載した以外にも質問をしていますが、議会だよりの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。

ページ	質問事項		質問議員
7	代表質問	①生活環境対策について ②人口減少対策、移住定住について	吉井 巧
8	関連質問	①ICT教育DX化について ②高校魅力化コーディネーターについて	松本 晶彦
9	関連質問	①空き家対策について ②組織改革について	伊藤 康弘
10	関連質問	①荒廃農地の利用について～農地の現況～ ②荒廃農地の利用について～今後の農業に向けて～	永井 章
11	関連質問	①荒廃地への営農型太陽光発電設備の実現と農業生産の拡大への取り組みについて ②清掃センター跡地の有効利用について ③市営墓地の適正管理について	景山 憲
12	各個質問	①エネルギー問題について～島根原発と核燃料サイクルについて～ ②エネルギー問題について～サーマルリサイクル(熱エネルギー活用)の問題点について～	安田 共子
13	各個質問	①市政運営について ②境港観光協会について	米村 一三
14	各個質問	①市民体育館の改修事業について ②本市と西部広域のごみ処理について	平松 謙治
15	各個質問	①まちづくりについて～ふるさと納税について～ ②健康・福祉の取り組みについて	田口 俊介
16	各個質問	①小学校トイレ改修事業について ②境港市渡太陽光発電所について	加藤 文治
17	各個質問	①自助、共助の取り組みの強化と持続可能な地域共生社会の構築について ②高齢者がいきいきと暮らしていける介護予防の体制づくりについて	足田 法行
18	各個質問	①水木しげる記念館再整備事業について ②市役所職員の副業について	柗 康弘
19	各個質問	①境港市校区審議会最終答申に基づく校区再編と小中一貫校の開設について ②重要土地等調査法対象区域内の土地・建物利用状況について	森岡 俊夫

紙面の都合上、質問と答弁を要約しています。議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

支え愛マップと 空き家対策の融合を

市長

本市として住民と一緒に 取り組んでいく



境港市空き家・空き地情報バンクの流れ
(市ホームページより)
支え愛マップパンフレット
(鳥取県社会福祉協議会ホームページより)



会派 自由未来
吉井 巧 議員

【吉井】竹内町の空き家対策は、自治会を挙げて行っている成功事例であり、他自治会でも共有すべき

【吉井】私の暮らす小篠津町では、5年ぶりに支え愛マップの更新事業を行い、5年間で増えた空き家や災害時の危険箇所、また独居世帯の情報を

【市長】支え愛マップは作ることが目的ではなく、作る過程が重要である。支え愛マップと空き家対策が連携していくように、市として住民の皆さんと協力して取り組んでいく。

【市長】竹内町は、総会の事業計画に空き家対策を明記し、年に一度は空き家や危険箇所の調査を行っている自治会である。そういった良い事例を他自治会にも紹介していきたい。

改めて知る機会となった。全市で支え愛マップづくりが進めば、空き家情報の共有にもつながると考える。空き家対策と支え愛マップづくりを融合させる考えはないか。

と思うが見解を。

市独自の 奨学金返還支援制度構築を

市長

今は市独自の支援制度を創設する 考えはない

【吉井】県内の8町村では独自の奨学金返還支援制度を設けている。県内4市の中では支援制度はまだ設けていないが、将来への投資と考え

【市長】本市では、独自の奨学金返還支援制度を設けていないが、鳥取県の「未来人材育成奨学金支援助成金」の利用が可能である。本市在住の方も、直近の3年間で15名の方が利用している。また、出身地や所在地などが県外の方でも利用

就職へとつながる本市独自の奨学金返還支援制度を構築する考えはないか問う。
【市長】本市では、独自の奨学金返還支援制度を設けていないが、鳥取県の「未来人材育成奨学金支援助成金」の利用が可能である。本市在住の方も、直近の3年間で15名の方が利用している。また、出身地や所在地などが県外の方でも利用



鳥取県未来人材育成奨学金支援
助成金チラシ
(鳥取県庁ホームページより)

タブレット端末、 持ち帰りの進捗は

教育長

すべての小中学校で
行っている



境港市の小中学校で使用しているタブレット



会派 自由未来
松本 晶彦 議員

〔松本〕9月議会にてタブレットの端末の持ち帰りの件について質問をした際、教育長は、9月中旬に持ち帰りに取り組む

と答弁をされた。持ち帰りの進捗状況をうかがう。
〔教育長〕すべての小中学校で持ち帰りをしている。日常的に持ち帰りをを行う学校も増えてきており、家庭での活用を通して、意欲の向上や学習時間の増加などの効果があった。オンラインでの健康観察や学習を行うことで、児童生徒の様子を把握することが

でき、不安の解消にもつながっている。
〔松本〕教師間で活用状況に差が生じているのではとの心配がある。その対応は。
〔教育長〕個別の先生方のスキルについては、ICTの支援員が先生方の困り感到に寄り添い、研修、または個別の相談に対応しているところだが、今後、先生方の困り感到に寄り添って考えていく。

魅力化コーディネーターの創設は

市長 配置する予定はない

〔松本〕岩美高校では、高校魅力化コーディネーターを配置することにより、

地域、小・中・高校と連携したまちづくりや魅力づくりに取り組んでいる。その結果、県外からも志願者数も増えている。境港市の魅力発信にもつながると思うが、本市での創設は、

立案や地域企業とのマッチング、学校活動の情報発信などの活動を担っている。境高校、境港総合技術高校でも、地域と連携したさまざまな取り組みをしている。2つの高校とも県教育委員会主導のもと、コミュニティスクールが設置され、地域の方も参加した顔の見える学校運営に鋭意取り組まれており、本市がコーディネーターを配置する予定はない。

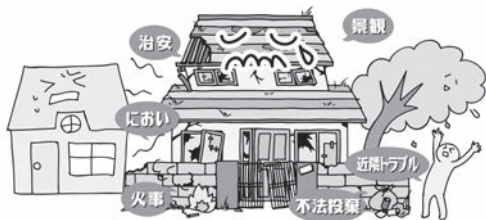


鳥取県立岩美高等学校
パンフレット

空家相談業務など他団体への移管は

市長

当面は「空家対策推進室」の体制を維持する



空家でお困りの方は気軽に相談を



会派 自由未来
伊藤 康弘 議員

【伊藤】他自治体では、空き家関連の相談業務や移住・定住

などを外郭団体が担っている事例があるが、そのような取り組みをふまえて、本市は今後どのように考えるか。

【市長】本市では、令和3年度から空き家や移住・定住に関するワンストップサービス窓口として、「空家対策推進室」を設置し、市民などが相談しやすい環境を整えている。その成果として、設置以前

と比べ相談件数は格段に増えており、空き家の除却や利活用にもつながっていると考えている。

また、空き家関連の相談などを主体的に担ってもらえる民間団体が今のところなく、もしそのような民間団体などがあれば連携し、空き家対策を進めていきたい。当面は「空家対策推進室」を中心とした取り組みを継続していく。

来年度に向けた組織改編の検討は

市長

現組織体制を維持し、随時検討していく

【伊藤】本市の今年度の組織体制は、5部21課、その他複数の事務局である。近隣の安来市では、政策担当の部があるが、本市でも各課・係の政策系の職務を集約するなどして、政策担当部などを新設してはと思うが、今後の見解は。

【市長】市役所の組織に関しては、さまざまな課題や市民ニーズに対応するよう取り組むべき時期と内容、業務量や職員数を考慮している。それぞれの市が抱える課題や進める政策もさまざまなので、職員数も異なっており、安来市のように政策担当の部を設置することは現在考え



会議の様子
(イメージ図)

ていない。本市のように職員数が少ない自治体で、効率的な行政運営を行うためには、関係部署が綿密に連携を取りながら対応していくことが肝要である。今後、より効率的で機能的な業務体制を構築するよう、組織改編も含め検討していく。

荒廃農地利用について

産業部長

高松町の一部に 太陽光発電設備を計画中



会派 自由未来
永井 章 議員

〔永井〕耕作放棄地の現状、他目的利用の取り組みの現況は。

〔市長〕市と農業委員会、毎年実施している荒廃農地調査では、市内農地の約3割であり、そのうち再生可能な農地は約7割、再生不可能な農地は約3割となっている。太陽



高松町駅付近

光発電設備や工業用地などの他目的利用は、費用や排水対策も考慮し検討している。
〔産業部長〕高松町の一部の放棄地に、太陽光発電設備を設置する計画である。

〔永井〕渡余子停車場線、産業中央線付近の農地改良事業で、造成した農地の利用状況は。
〔市長〕誠道町北側から福定町までの、産業中央線付近の遊休農地の農地改良は、令和3年度までに約8.9haを整備している。

農地改良事業での 農地利用は

市長

一部で早生樹の 試験栽培をする予定

現在の利用状況は、認定新規就農者が3名で2.2ha、認定農業者が農業法人1社と個人1名で3.8ha、一般農業者が1名で0.2haを利用している。残りの2.7haは、耕作者がいない遊休農地となっている。この遊休農地に



産業中央線付近農地

については、耕作者を探していくとともに、一部の遊休農地では、バイオマス発電の燃料として、早生樹の試験栽培に取り組むこととしている。

営農型太陽光発電設備の設置を



会派 自由未来
景山 憲 議員

市長 導入に向け課題を整理し検討を続ける

〔景山〕本市の新しい農業生産品を生み出す、そのためのエネルギーとして営農型太陽光発電設備の導入が必要。農業部門、環境部門が連携した可能性調査、農業者との懇談の機会を持つなど、前向きに検討すべきでは。

〔市長〕営農型太陽光発電の導入に向け、可能性を検討する協議会が立ち上がった。一現時点では難しい」との結論。引き続き課題を整理し検討を続ける。

先進的な小型風力発電設備の導入を



小型風力発電設備の一つの例

市長 跡地に小型風力発電設備設置は考えていない

〔景山〕清掃センターの解体が進行している。跡地の有効利用の一環として、脱炭素社会の実現をめざしての環境教育の実践例として、効率的で先進的な小型風力発電設備をモデル的に導入すべきでは、見解をうかがう。

〔市長〕センター跡地に、小型風力発電設備を設置する考えはない。街路灯に設置する小型風力発電設備もあるので、今後、更新する際に導入を検討してみた。

中央墓園無縁納骨堂の全面的改修を

市長 全面的改修の予定はないが適正管理に努める



納骨堂及び周辺の状況

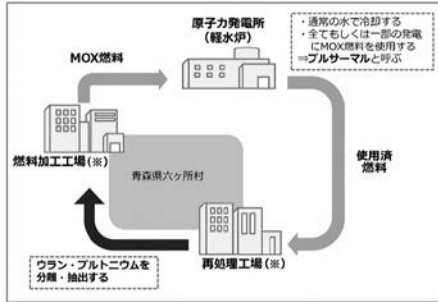
〔景山〕中央墓園には、2カ所の無縁納骨堂が設置されている。昭和48年に設置以来、遺骨を一時にお預かりする重要な施設であるが、近年老朽化が目立つ。全面的改修など適切な環境整備を検討すべき、見解をうかがう。

〔市長〕開設後、老朽化が進み、これまで内部の改修と棚の増設を実施した。現在、無縁納骨堂の全面的改修の予定はないが、適正な維持管理に努める。

核燃料サイクル 破綻しているのでは

市長

将来のエネルギー安全
保障の観点で重要だ



核燃料サイクルのイメージ
資源エネルギー庁
「核燃料サイクルの今」より

〔安田〕島根原発1号機の廃炉計画は、核燃料サイクルで島根原発2号機を稼働することがセツトになった計画だ。



無所属 (日本共産党)
安田 共子 議員

核燃料サイクルは、使用済み核燃料から取り出したプルトニウムとウランを混合酸化物(MOX)燃料として再利用するものだ。国内外の再処理工場では放射能の放出や漏えい、火災爆発、臨界事故などが起き、原発以上に危険といわれている。技術上の困難とコストの肥大化から、イギリス、アメリカ、ドイツなどが核燃料サイクルから撤退し、核燃料サイ

クルを維持するのはフランスと日本だけという状況だ。すでに破綻しているという見方もあるが、認識は。〔市長〕専門家によって見解はさまざまあるが、核燃料サイクル政策の確立は、資源の乏しい日本にとって、エネルギー資源を有効利用でき、将来のエネルギー安全保障の観点でも重要だと認識している。

ごみ処理の広域化で 意識低下に懸念

市長

食品ロス削減・生ごみの減量化で強化中

〔安田〕昭和町に整備計画があるバイオマス発電施設について、さまざまな懸念があるが、認識は。〔市長〕発電事業者が主に山陰産の木質チップを安定調達できるよう林業者と協定を結んでいる。燃料を貯蔵する建屋の構造、燃料の貯蔵期間などから、火災や



ごみ処理を身近に
*家庭用生ごみ堆肥化容器
購入補助あります

粉塵による爆発が発生する可能性は低く、さらに防火、消火対策を徹底する計画となっている。〔安田〕一般廃棄物処理の広域化と、ごみ発電の効果の過大視により、ごみ削減やリサイクルへの意識の低下が懸念される。本市の可燃ごみの削減目標やリサイクル率の目標は不

十分。広域化の計画を見直し、可燃ごみゼロに向かうよう目標を引き上げては。〔市長〕一般廃棄物処理基本計画では、広域の目標を参考に、本市の目標を設定し、食品ロスの削減や生ごみの減量化を柱に取り組みを強化している。引き続きさらなるごみの減量化に努める。

夜間の市民の交通手段確保が必要だ

市長

夜間の利用者が少なく、対応困難な現状だ



©水木プロ

市民の足として活躍する
はまる一ぷバス

【米村】本市のタクシー運行状況の背景もあり、はまる一ぷバスの運行時間の



会派 ぎょうどう
米村 一三 議員

延長を望む声もある。利用状況調査し、運行時間帯の検討も必要ではないか。

【市長】本年度、春と秋に2度の乗降調査を実施した。午後6時以降は遅くなるほど乗車人数が少なく、最終便は5人以下で、中には利用者がいないこともあり、運行時間の延長は考えていない。

【米村】夜間の緊急時にタクシーを利用したくてもできない現状だ。何らかの

対策が必要では。

【市長】市外のタクシー会社が本市での深夜運行を検討したが、業界の調整不調で実現しなかった。市内業者も夜間は利用者が少なく、運行を維持できないとのことだ。

夜間の緊急時には、事前登録が必要だが、米子の事業者が実施する妊産婦のための「ママサポータータクシー」が利用できる。市内事業者と協議も継続する。

境港観光協会との運営協議について

市長

定期的な情報交換と情報共有を実施している

【米村】境港観光協会の令和4年度の決算が赤字との報告だった。事業費の半分以上を補助金としている本市は、さまざまな局面で協議するべきでは。

【市長】協会の事業については、四半期ごとに収支報告があり、財務状況を確認



JR 境港駅に隣接したビルの1階の
(一社)境港観光協会が運営する
境港市観光案内所

している。また、毎月定例会議を実施し、補助事業だけではなく、他の事業においても意見交換・情報共有をはかり、適正な事業運営のサポートをしている。

【米村】観光協会の収支状況や発生した借入金の返済計画を報告いただきたい。

【市長】協会は、平成29年度から令和

元年度まで赤字が続いたが、令和2年度と、3年度は収支が赤字となった。本年度は、コロナ禍からの観光需要の回復もあり、黒字化が見込まれている。借入金には2か所あり、民間金融機関への返済は令和8年に、政府系金融機関への返済も令和23年度に終了する予定である。

体育館改修の 同時休館への対応は

生涯学習課長

第1市民体育館は 休館期間短縮が検討される



会派 ぎょうどう
平松 謙治 議員



外壁改修を必要としている第2市民体育館

【平松】市民体育館と第2市民体育館の改修事業で2館同時休館が予定されているが、工事の予定は。

【教育長】現時点では、令和6年4月から9月に工事・休館する。なお、実施設計で工期が固

まりしだい、利用者

者に周知する。

【平松】先の議会の一般質問で、2館同時休館期間を少なく

なるよう努めたことと教育長の発言があつたが対策は。

【生涯学習課長】実施設計を進める中で、第1体育館については休館期間を7月

から9月に短縮するよう設計会社と調整中である。

【平松】体育館利用者は、場所がなく困っている。4月から6月に体育館

が利用可能になる可能性があるのであれば利用者に情報提供してほしい。

【生涯学習課長】1月中旬には、工期が確定すると思う。事前に情報提供を行いたい。

広域化後も 不燃ごみ持ち込み可能に

市民生活部長

現時点では受け入れを なくす予定である



不燃ごみなどを処理する
リサイクルセンター
(現在は、直接搬入も可能)

と、最終処分場を建設する計画である。可燃ごみ処理は、低コストの焼却施設で、さらに廃棄物工

【平松】鳥取県西部行政管理組合の廃棄物処理施設整備について説明を。

【市長】令和14年度稼働をめざす処理施設は、可燃ごみと不燃ごみをそれぞれ処理する中間処理施設

屋根付きの施設とし、水処理を公共下水道で行いランニングコストを軽減する。

【平松】今後、持ち込みごみの市内での受け入れ場所は、どうなるか。

【市民生活部長】可燃ごみについては、燃ごみについては、残す。不燃ごみについては、現時点では、受け入れをなくす予定である。

鬼太郎などのオリジナル返礼品を

市長

プレミアムな返礼品の検討もしてみたい



境港市の「ふるさと納税」のチラシ

〔田口〕ふるさと納税返礼品について、「さかなと鬼太郎のまち」の視点から



公明党

田口 俊介 議員

〔田口〕ロード開設

んでいきたい。

〔田口〕ロード開設

とも協議しながら検討していきたい。

鬼太郎をはじめとする水木作品のキャラクターのオリジナル返礼品の開発を検討してはどうか。

30周年、記念館のリニューアルも来春に控え、さらに現在新作映画もヒットしている。この機を逃さず取り組みを。

ワクチン接種費助成に踏み出すべき

市長

費用対効果について検討してみたい

〔田口〕これまでの疫学調査からの推計では、本市での50歳以上の年間の帯状疱疹罹患数は、191人、医療費は約1150万円との試算もある。市民の健康を守り、医療費削減に資する観点から帯状疱疹ワクチン接種費助成に踏み

出すべきでは。〔市長〕引き続き国に対して定期接種化について要望する。また、医療費とワクチンの接種費用助成による費用対効果について、他市の事例も参考にしながら、本市でも検討してみたい。

〔田口〕視覚障がい者の情報取得の促進のため、市民に送付している公的な通知について、「音声コード」の普及を進めるよう全庁的に取り組むべきと考えるが。〔市長〕まずは、福祉課の業務において、音声コードを印刷したものを試験的に作成し、障がいのある方にご意見をうかがうとともに、他市の導入事例を調査研究したい。



50歳を超えたら、帯状疱疹ワクチン接種をご検討ください

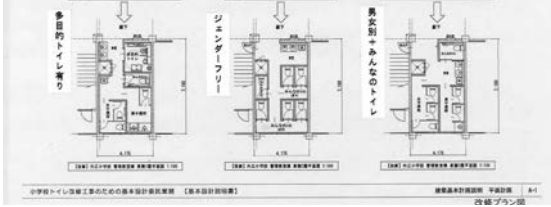
オールジェンダートイレ 設置方法は

教育長

トイレの設置について
改めて意見は聞かない



会派 自由未来
加藤 文治 議員



外江小学校 管理教室棟トイレ
改修プラン図 (案)

【加藤】この度の、小学校にオールジェンダートイレを設置する案は、国のLGBT理解増進法の成立を受けてのことでしょう。しかしながら、日本は元来、性に対して寛容な国であり、この法律は、国会での審議が十分にされず、採決にかけられ強権的に成立した悪法だ。逆に、

「多様な性のあり方」などについて、発達段階に応じた人権教育や性教育への理解を深める学習を進めていく。

子どもたちへは、「多様な性のあり方」などについて、発達段階に応じた人権教育や性教育への理解を深める学習を進めていく。

性的マイノリティの子どもがさらけ出され、取り残されないか危惧する。オールジェンダートイレを整備し、性教育を行うのか、今後、トイレ設置に対してさまざまな方の意見を聞き検討するのか、うかがう。

【加藤】10月2日に、境港市渡太陽光発電所を視察した。そして、そこに設置されている太陽光発電設備が、米国ではジェノサイドパネルとして輸入禁止となっている、中国ファーウェイ社の製品であることに、私は驚いた。

中国製太陽光パネル 使用の是非は

市長

使用見合わせは考えていない
国の動向を注視

【市長】プロポーザル方式により、事業者からの提案を受け、性能、補償内容など、総合的に優れていたため採用した。

民間企業であれば、国が輸入禁止にしない限り使用は可能だが、本市の公共事業であるこの太陽光発電事業に、中国製品を採用しても問題はないのか、本市の見解は。

一部報道で、中国で生産される太陽光パネルは、強制労働との関係が指摘されており、それが事実であれば大変憂慮される問題だ。これに対し、日本政府からの公式見解は出されていないため、現時点では、その使用を見合わせることは考えていない。引き続き、国の動向を注視する。



中国ファーウェイ社の機器を使用して完成した
渡太陽光発電所

公民館のコミセン化が 必要では

※コミュニティセンターの略

市長

すでにコミュニティセンターの ように思う



倉吉市のコミュニティセンター
(写真：倉吉市上灘地区)
地域づくりの核へ機能強化、
独自の収益事業も可能に

〔足田〕地域住民の
活動しやすい環境を
整えるため、公民館



公明党

足田 法行 議員

のコミュニティセン
ター化が必要では。
〔教育長〕本市の教
育委員会の所管で
ある公民館は、地
域の拠点の役割とし
て、地域住民で構成
される運営審議会に
おいて、住民の意見
が運営に反映されて
いる。さらに、地域
住民の学びや地域課
題の解決につながる
取り組みを地域住民
との協働で行われ、
地域住民の活躍の場
になっている。公民
館で働く職員は第2
のCSコーディネー

ターとして地域の連
携の役割も担ってい
る。コミュニティセ
ンター化は考えてい
ない。
〔足田〕可能性を広
げられるコミュニ
ティセンター化は
有効だが、市長の
考えは。
〔市長〕本市の公民
館は、コミュニテ
ィセンターのよう
に思っている。さら
に公民館職員の声
を聞き、教育委員
会とともに地域
づくりの拠点と
しての公民館と
なるよう検討す
る。

リハビリ専門職の 包括支援センター配置を

市長

配置に向け事業所と調整し、 検討している

〔足田〕財政の視点
からも、総合事業の
組み立てを見直す時
期にきている。従前
からある介護サービ
スではなく、一人ひ
とりが回復、卒業を
目標に毎日の予防を
試みる総合事業に改
めるべきだと思う

が、どうか。
〔福祉保健部長〕本
市は、制度の中で効
果的な事業を行って
いるが、他市の効果
的な事業を参考にし
ながら研究したい。
〔足田〕リハビリ専
門職は、高齢者の
一人ひとりの生きが
いや 社会参加を目
標としたリハビリを
重要視したスペシャ
リストである。そう
した専門職を地域包



介護事業所でのリハビリテーションの様子

括支援センターに配
置してはどうか。
〔市長〕今、リハビ
リ専門職を地域包括
支援センターに配置
する検討をしてい
る。来年度に向け事
業所の方とも調整を
している状況。要支
援から6割の卒業と
要支援に行かないよ
うすることは非常に
大事で、地域包括支
援センターでしっか
りやっていく。

現状の勤務条件の認識はいかに

市長

勤勉手当が含まれたものと認識している



©水木プロ

水木しげる記念館ホームページ

〔柘〕 昨年9月議会にて、水木しげる記念館再整備事業について、休館前に勤務



会派 きょうどう
柘 康弘 議員

「〔柘〕 昨年9月議会にて、水木しげる記念館再整備事業について、休館前に勤務していた職員が希望した場合は、再雇用されるようにと質問した。市長からは「水木プロダクションには、事業提案を提出する際の条件として、記念館職員の募集については、再雇用を希望する職員を可能な限り採用することや、勤務条件も現状を下回らないようにすることなどの要件を盛り込んでいた。」との答弁であった。来年4月のリニューアルオー

プンに向けて、労働条件を含む職員募集の詳細が協議されていると思うが、進捗状況と今後のスケジュールを問う。
〔市長〕 再雇用を希望する職員については、指定管理者の面接試験を経て採用される。給与については、現状を超える給与額にするという。指定管理者から、再雇用希望者に速やかに雇用条件などの説明会を開催してもらおう予定だ。

地域に出向いて社会貢献活動を

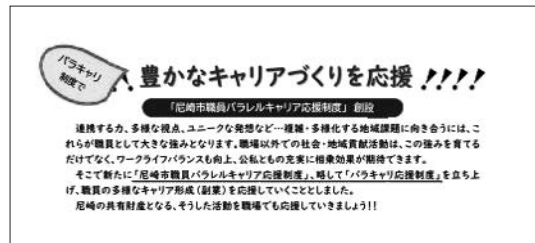
市長

積極的に推進しているところである

〔柘〕 市役所職員の副業は、地方公務員法第38条で規定されており、市長の許可を得なければ認められないことになっている。本市でも2名の職員が許可を得て営利企業などに従事している。副業が可能・不可能なケース、

許可の必要・不必要なケースを問う。
〔市長〕 職員から提出される営利企業等従事許可願については「職務専念義務の遂行への支障がないか」「職務の公正な執行が確保できるか」「職務の品位を損ねないか」の3点に照らし合わせ、個々の状況に応じて可否を判断している。職員

が報酬を得て活動する場合は、許可願の提出を原則としている。公民館運営審議会委員や自治会役員など、市または公益的な団体で活動する場合は、許可願の提出は求めない。地域の活動に参加し、地域の実情を知ることには職務遂行上において、大変有益であると考えている。



尼崎市パラレルキャリア応援制度
尼崎市ホームページより

教育長のめざす義務教育学校とは

教育長

個別最適な学びと協働的な学びを充実する



八王子市立いずみの森義務教育学校
(レイモンド設計社提供)



会派 きょうどう
森岡 俊夫 議員

【森岡】学校再編ワーキングチームでの検討内容は、「教育長」地域から切り離すことができない問題であるため、

地域の方々と情報共有し、丁寧に進めることが不可欠である。人口推計から、10年先は、複式学級維持は難しい。未来の子どもたちにとって新しい教育の姿を見据えた都市型の統合になると考える。

や課題を乗り越えやすくなる。また、個別最適な学びと協働的な学びの充実を、一人のトップリーダーが9年間の学びを編成し、統括できるメリットもある。不登校・外国籍の子どもも通いやすい「学びの多様な学校」とする構想など、未来に夢や希望を持ち、力をつけていける学校づくりが義務教育学校では可能となると考える。

重要土地等調査法施行後の対応は

市長

市報・新聞折り込み・市民説明会を開催した



美保基地周辺対象地域図
(内閣府ホームページより)

【森岡】本市に「重要土地等調査法」が適用された。防衛省など国の重要インフラがあることから、対象地域内の土地・建物の利用状況の綿密な調査が必要と思うが、法施行後の対応は、

【市長】調査については、内閣府が元的に行うものと認識する。本市の役割として、国からの求めに対し、しっかりと協力する。市報・ホームページ・新聞折り込み・市民説明会などで対応した。

【森岡】市内には、外国資本で営業している未登記の土地・建物が現に存在している。不正行為を未然に防ぐという観点から実態把握が重要で、国・県との縦軸の連携、また、課税客体の問題もあり、庁内での横軸の連携が重要になると思うが、

【市長】国家安全保障上重要な施設に加え、近くに島根原発もあり、疑念を持たれるような土地・建物があれば、国の要請に対して情報が出せるよう協力していく。



蟬梅一春 2022年2月 撮影：竹田 誠司 様

議会傍聴にお越しく下さい

傍聴は、議会への理解を深めていただける最も身近な方法です。

境港市議会の本会議や委員会は、特別な場合を除いて全て公開されており、誰でも傍聴することができます。会議日程は市議会ホームページでご確認いただけます。

ただし、委員会の傍聴は委員長の許可制としていますので、委員会の傍聴を希望される方は、議会事務局まで申し出てください。

【手話通訳・要約筆記による傍聴の申し込みを希望される方へ】

聴覚に障がいのある方のために、議場での傍聴の際に手話通訳者・要約筆記者を手配します。ご希望の方は、傍聴希望日の2日前（土日、祝日を除く）までにEメールなどにより「手話通訳・要約筆記申込書」をご提出ください。申込書は、市議会ホームページに掲載しています。ご不明な点は、議会事務局までご相談ください。

あとがき

昨年の5月、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」になり、週末になると市内各地で、学校行事、地域行事、賑わいイベントが開催されています。

クルーズ船の来航も再開され、多くの外国人観光客が水木しげるロードをはじめとする観光地に来訪されています。以前は、アジア系の方が主で観光より買い物という印象でしたが、昨年来境された外国人観光客は、欧米の方が中心で、買い物より、思い出作りが、目的の一つのようです。

基地・空港港湾問題調査特別委員会では米子鬼太郎空港の国内線利用状況の報告を受けました。コロナ禍で落ち込んでいた乗降客数は増加傾向、国際線では米子ソウル便、米子香港便（季節限定）の運航が再開されました。今年も、より多くの方が、境港を訪れ境港の魅力をリスペクトして、さらに多くの方が訪れることを期待しています。

（松本）

【発行責任者】

議長 荒井 秀行

【広報部会】

部長 吉井 巧

副部長 足田 法行

松本 晶彦

森岡 俊夫

安田 共子

発行／境港市議会

〒684-8501 鳥取県境港市上道町 3000

TEL: 0859(47)1097 FAX:0859(47)1110